



発熱

Q1 高い熱が出ると、脳がやられませんか？

A. 高熱そのものによって脳に障害が残るとするのは迷信です。脳炎・脳症といった脳を壊す病気に罹れば脳が障害される可能性があります。脳と関係ない疾患（たとえば扁桃炎、肺炎）が原因で熱が続いたことによって脳に障害が残ることはありません。高熱が出たら、解熱剤を使って直ちに熱を下げなければならないと考える理由は何もありません。

Q2 生後3カ月未満の赤ちゃんの熱は注意すべきだと聞きましたが、なぜですか？

A. 生後3カ月までの赤ちゃんは、お母さんから臍の緒を通じてたくさんの免疫をもらっていますので、熱を出しにくいのですが、それでも熱が出たということは、強力な病原体に感染している可能性があります。たとえば、髄膜炎や敗血症、尿路感染症などです。また、3カ月未満では、それぞれの病気に特徴的な症状が出にくいということも言えます。そのため、3カ月未満の赤ちゃんが38℃以上の熱を出しているときには早急の受診が必要となります。

Q3 熱はすぐに下げるべきですか？

A. 小児の発熱の大半はウイルス感染症です。ほとんどのウイルスは熱に弱く、人の体は熱を出すことによって免疫力を高め病原菌と戦っているのです。したがって、すぐに熱を下げるのは好ましいことばかりではありません。元気で水分も取れていればすぐに解熱剤を使うのはひかえましょう。

Q4 熱が高いときほど重い病気なのでしょうか？

A. 熱の高さと病気の重さに直接の関係はありません。高熱でつらそうでも、ほかに症状が無い時は重い病気ではないことがほとんどです。熱が高くても元気があって水分が飲めていれば一晩様子をみても大丈夫です。夜は高熱でも朝になると下がる場合があります。